

イヌビエ (英名: Barnyardgrass)

ヒエ属



<特徴>

- 和名：犬稗
- 植物体が小さい頃はチモシーによく似ているが全く別物
- 何度刈っても地際から再生する。あっという間に穂が出るぐらい生育が旺盛で、掃除刈りは効果なし
- 種子から増殖。種子生産能力が極めて高いため、牧草地で急速に拡大する
- 一度侵入すると打つ手が無いため再更新が必要
- 乳牛にとって刈遅れの牧草並みに栄養価が低い
- 硝酸態窒素濃度が高い

収量低下

嗜好性低下

成分注意

急速に拡大

選択性
除草剤なし



穂の形状



硝酸態窒素濃度
簡易測定紙

見分けるポイント



新播草地で見かけるひととき
大きな個体がイヌビエ



株元に赤みを帯びて
いることが特徴



葉舌と葉耳が無い
茎はやや扁平

侵入の特徴・防ぎ方



5月下旬～7月下旬に草地更新すると発生が増える。春播きなら、可能な限り早く播種する。

サイレージ用とうもろこし収穫後、翌年夏に播種する場合は同日播種を行う。